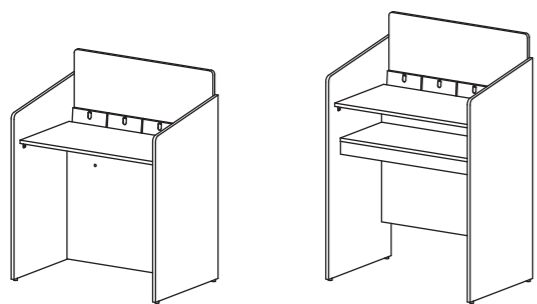


組立の目安
25分

記載台 組立説明書
RFKD-9060 (60) WH (H, L) -T (L)



記載台ロー (RFKD-9060WHL)
組み立て方: 3ページから

記載台ハイ (RFKD-9060WHH)
組み立て方: 8ページから



組み立て方やお手入に困ったら
アールエフヤマカワ お客様相談室



- ◆ RFKD-9060WHL と RFKD-9060WHH は 2つに分けて梱包されています。
- ・ RFKD-9060WHL
梱包1 RFKD-9060WH-T
梱包2 RFKD-60WHL-L
- ・ RFKD-9060WHH
梱包1 RFKD-9060WH-T
梱包2 RFKD-9060WHH-L

部材一覧 ※部品の個数を参照し、不足や不具合がないかをご確認ください。不足や不具合があった場合は配送いたします。電話にて部品名をお伝えください。

梱包1 RFKD-9060WH-T			
①天板 ×1	②幕板 ×1	③背板 ×1	④底板 ×1
⑤ペーパートレイ ×3	⑥ペンスタンド ×1	⑦41ジョイントシャフト ×18	⑧十字穴付き平ねじ ×9 (M6×12)
⑨木ダボ ×1	⑩L字金具 ×2	⑪穴隠しシール ×14	⑫クッションシール ×1

梱包2 (ローの場合) RFKD-60WHL-L		梱包2 (ハイの場合) RFKD-9060WHH-L	
⑬左側板 ×1	⑭右側板 ×1	⑬左側板 ×1	⑭右側板 ×1
⑯棚板 ×1	⑰補強板 ×1	⑱41ジョイントシャフト ×10	

重要 ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法

本商品には **ジョイントシャフト** と **カムロック** を使用して組み立てを行う工程がございます。以下の説明を最後までよくお読みのうえ、組み付けを行ってください。

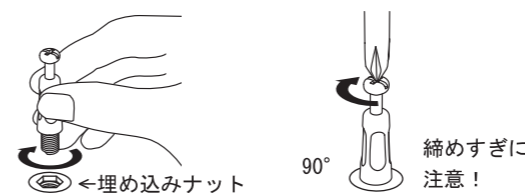
1. ジョイントシャフトの取り付け

※商品に同梱されているジョイントシャフトの種類をご確認のうえ、下記に示す方法で取り付けを行ってください。

ジョイントシャフト

※商品によってジョイントシャフトの形状が異なる場合がありますが、使用上問題ございません。

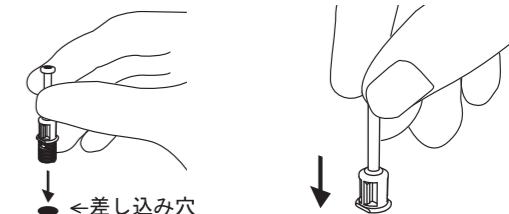
ジョイントシャフトを板面の埋め込み(鬼目)ナットに回し入れます。手で回し入れたあと、プラスドライバーを使用して90度ほど増し締めしてください。



差込ジョイントシャフト



ジョイントシャフトを指定の板面穴に差し込みます。隙間が無いように最後まで差し込んでください。



適切な取り付け
ボルト部分のみが完全に隠れるように回し入れてください。



最後まで入っていない
抜けや歪みの原因となります。



締めすぎ・差し込みすぎ
ジョイントシャフトや埋め込みナットが破損する恐れがあります。

2. ジョイントシャフトの挿入

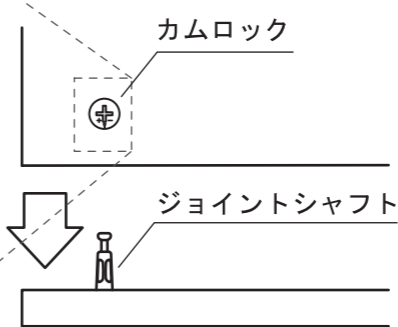
板面に取り付けられているカムロックに、ジョイントシャフトを差し込みます。

カムロックには+ または▲矢印もしくはその両方が刻印されています。



この印をジョイントシャフト側に向けて差し込んでください。

取り付ける板面を平行に持ち、垂直に真っ直ぐ差し込みます。



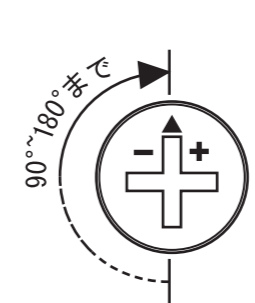
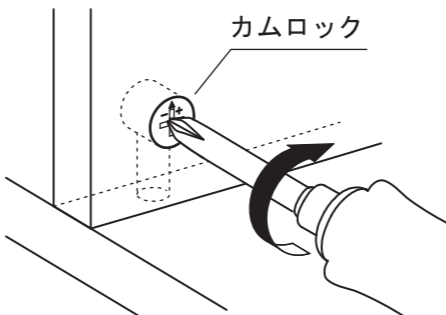
適切な差し込み



隙間が空いている
正常に固定できません。

3. ジョイントシャフトとカムロックの固定

プラスドライバーを使用し、カムロックを時計回りに回転させます。回し始めから90°~180°程度で、カムロックがジョイントシャフトとかみ合って固定されます。



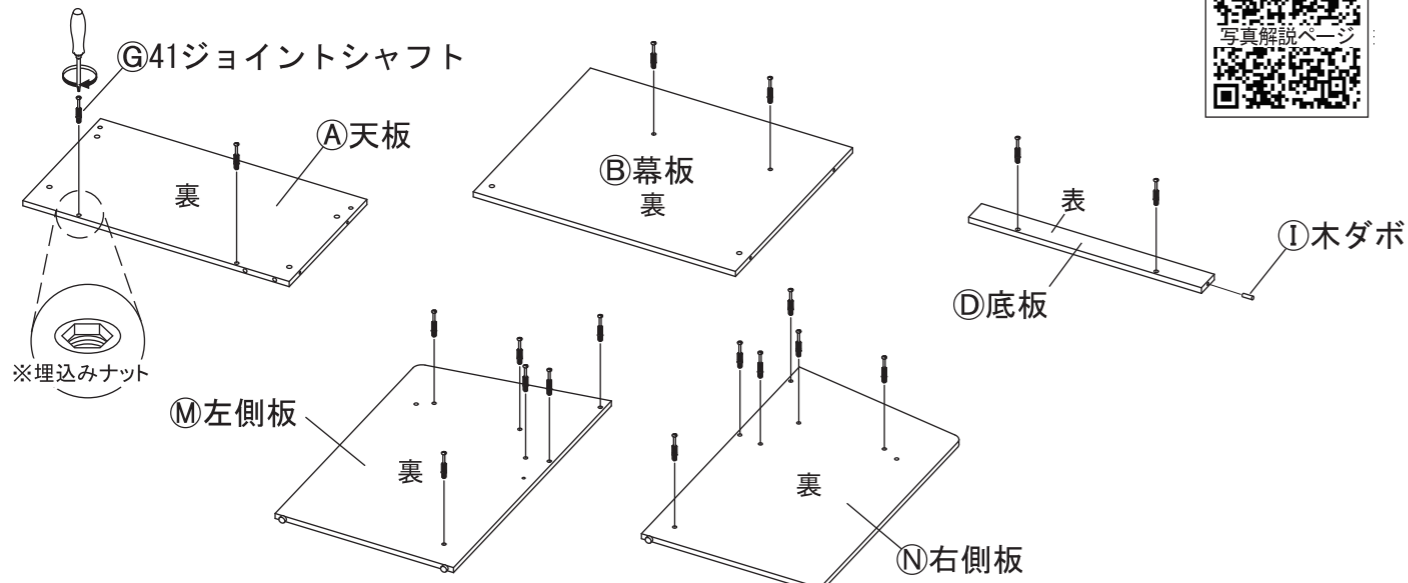
正常な締め付け



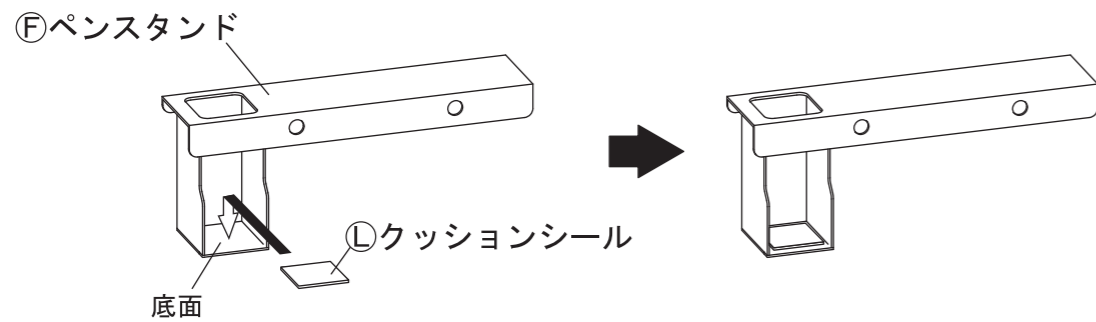
締めすぎ
無理に回すと破損の原因となります

記載台ローの組み立て方

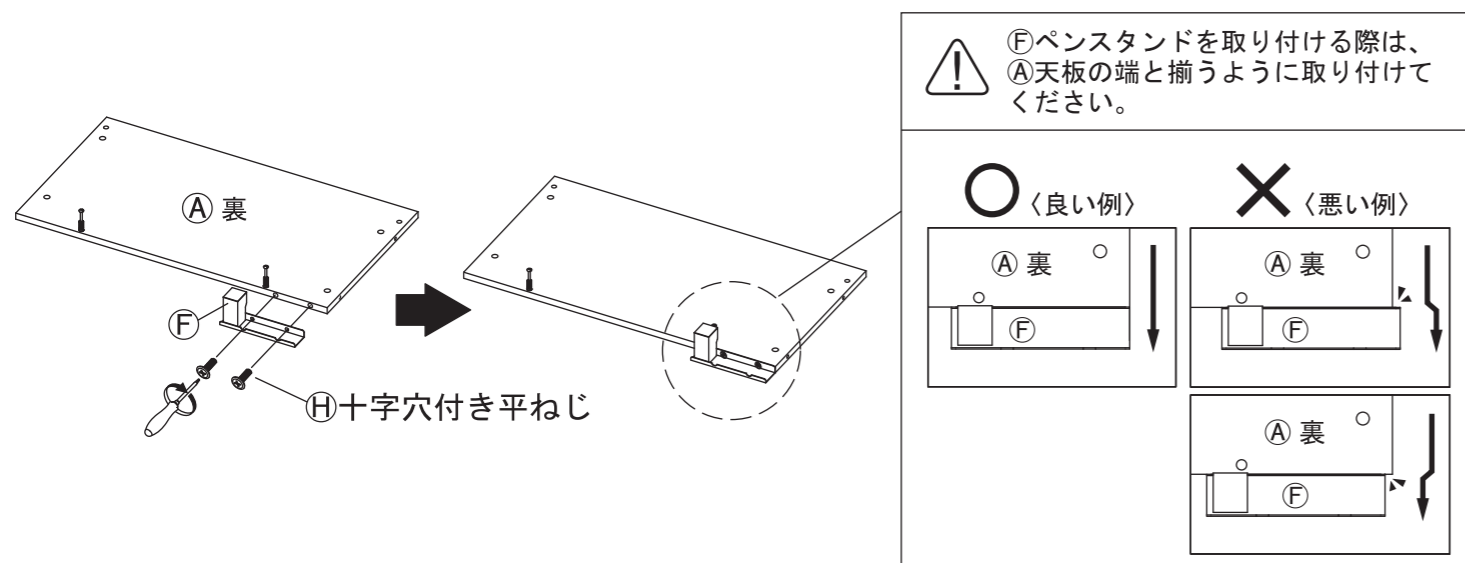
- 1** ①天板・②幕板・③底板・④左側板・⑤右側板に⑥41 ジョイントシャフトを回し入れてください。
その後、③底板の横穴に⑦木ダボを差し込んでください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



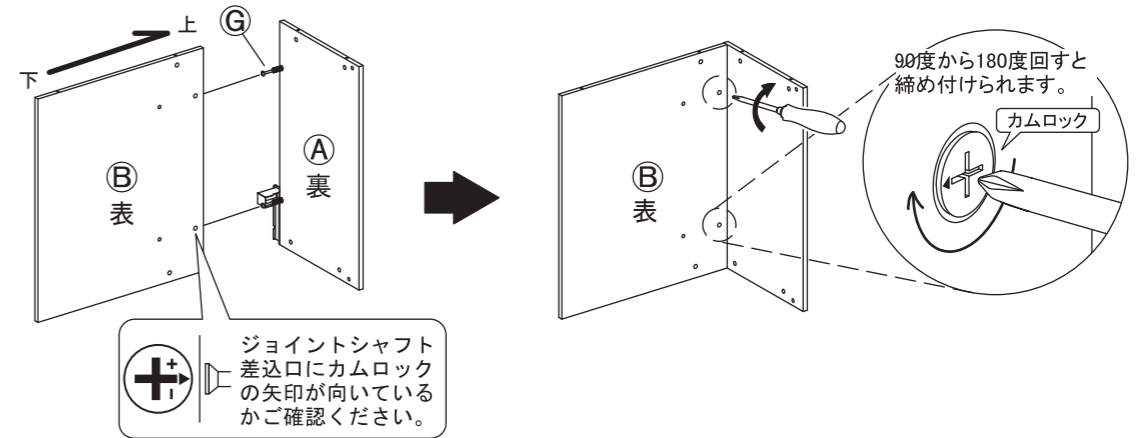
- 2** ⑧ペンスタンドに⑨クッションシールを貼り付けます。
⑩クッションシールの剥離紙を剥がし、⑧ペンスタンドの底面に貼り付けてください。



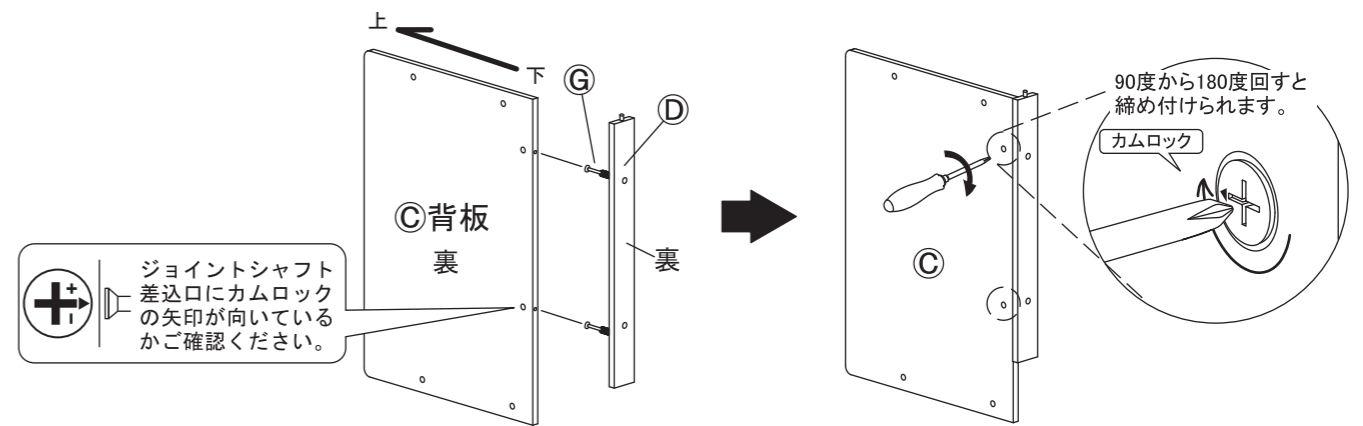
- 3** ①天板に⑧ペンスタンドを取り付けます。
プラスドライバーを使って⑪十字穴付き平ねじを回して締め付けてください。



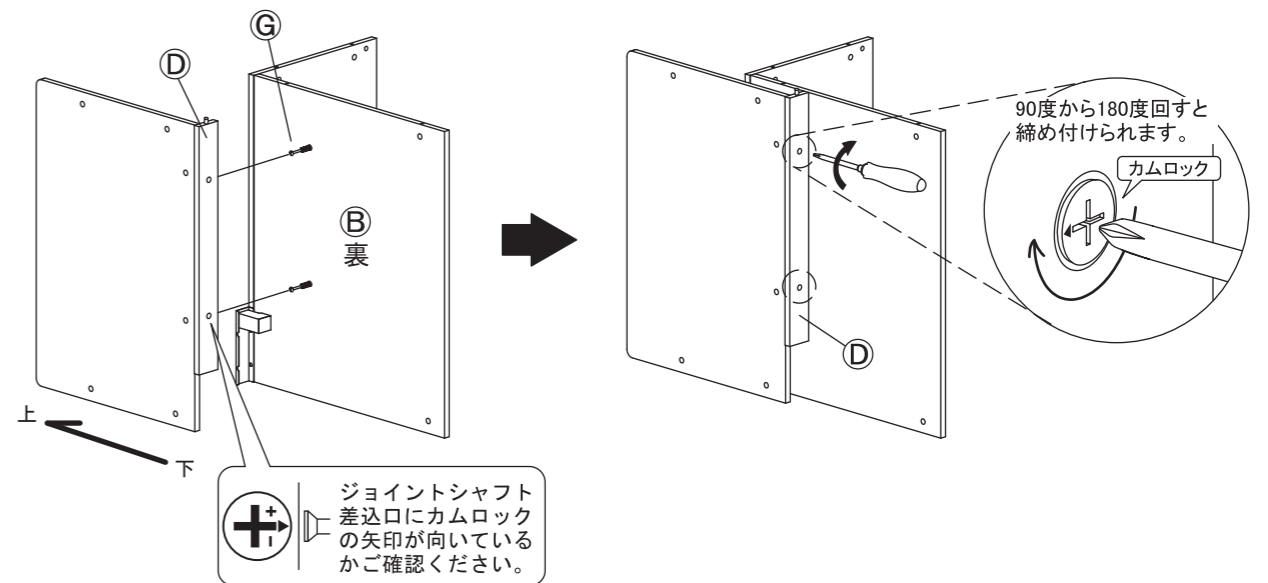
- 4** ②幕板の横穴に、①天板の⑥41ジョイントシャフトを差し込みます。
その後、②幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



- 5** ③背板の横穴に、③底板の⑥41ジョイントシャフトを差し込みます。
その後、③背板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



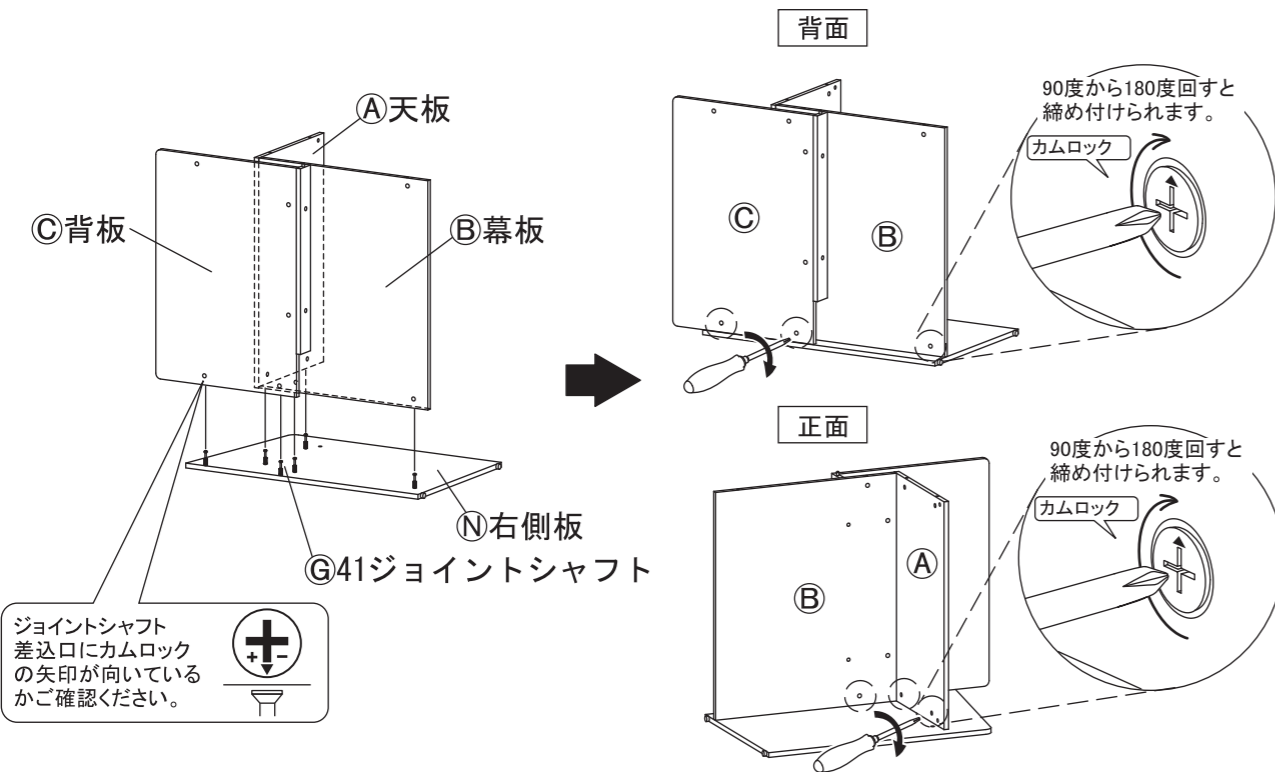
- 6** ⑤で組み付けた③底板の横穴に、④で組み付けた②幕板の⑥41ジョイントシャフトを差し込みます。
その後、③底板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



7

6で組み付けた(A)天板・(B)幕板・(C)背板の横穴に、(N)右側板の(G)41ジョイントシャフトを差し込みます。その後、(A)天板・(B)幕板・(C)背板のカムロックを回して締め付けてください。

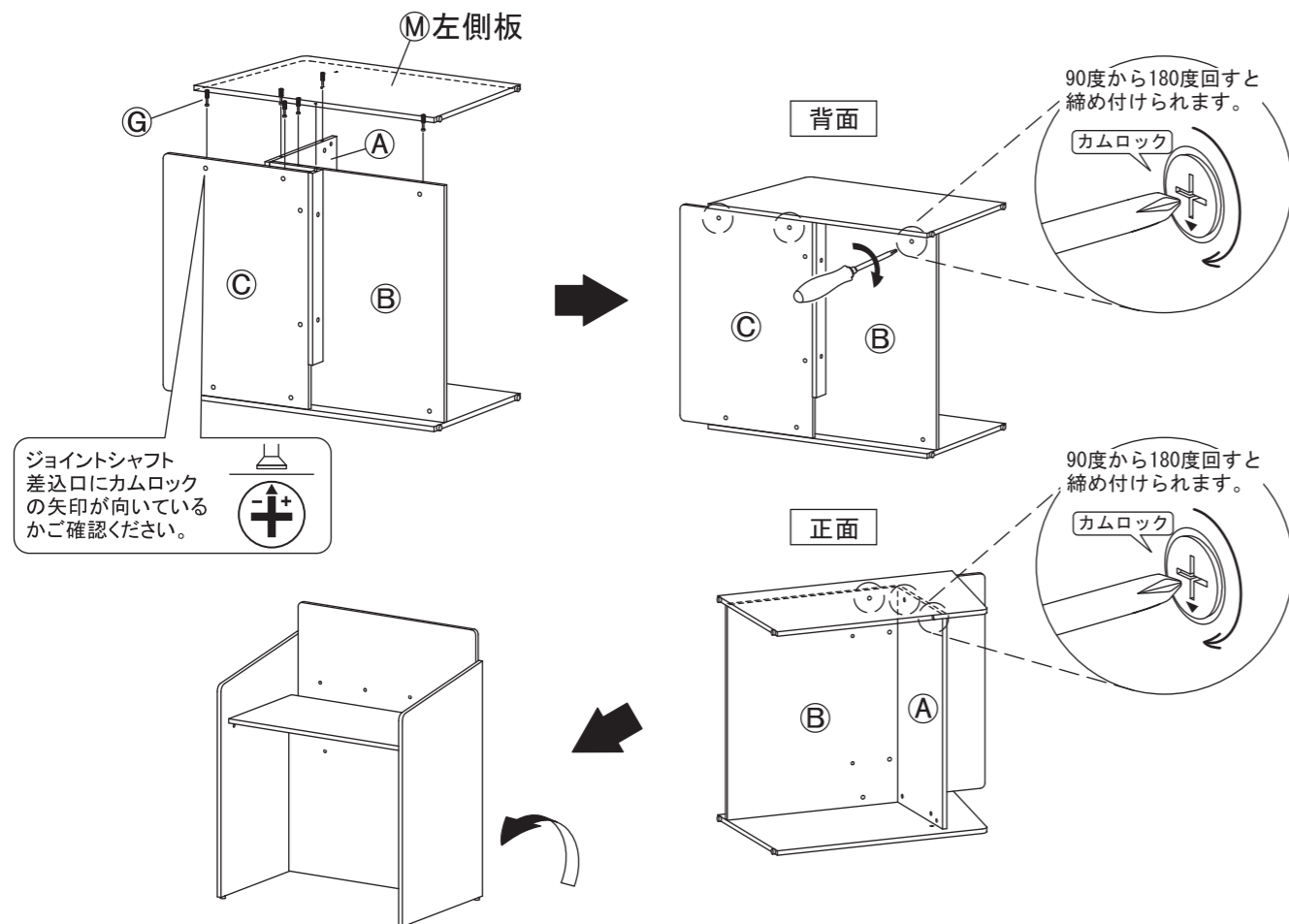
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



8

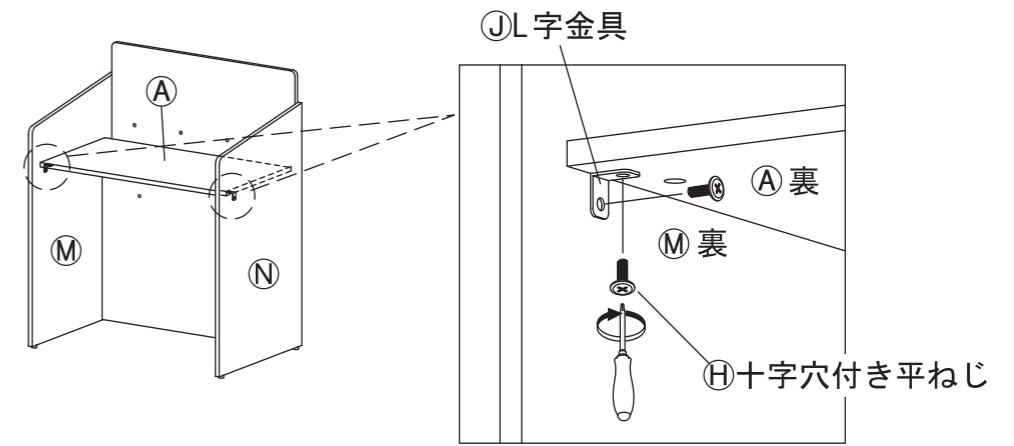
7で組み付けた(A)天板・(B)幕板・(C)背板の横穴に、(M)左側板の(G)41ジョイントシャフトを差し込みます。その後、(A)天板・(B)幕板・(C)背板のカムロックを回して締め付けてください。全てのカムロックが締め付けられていることを確認し、組み付けた製品を二人以上で慎重に起こしてください。

■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



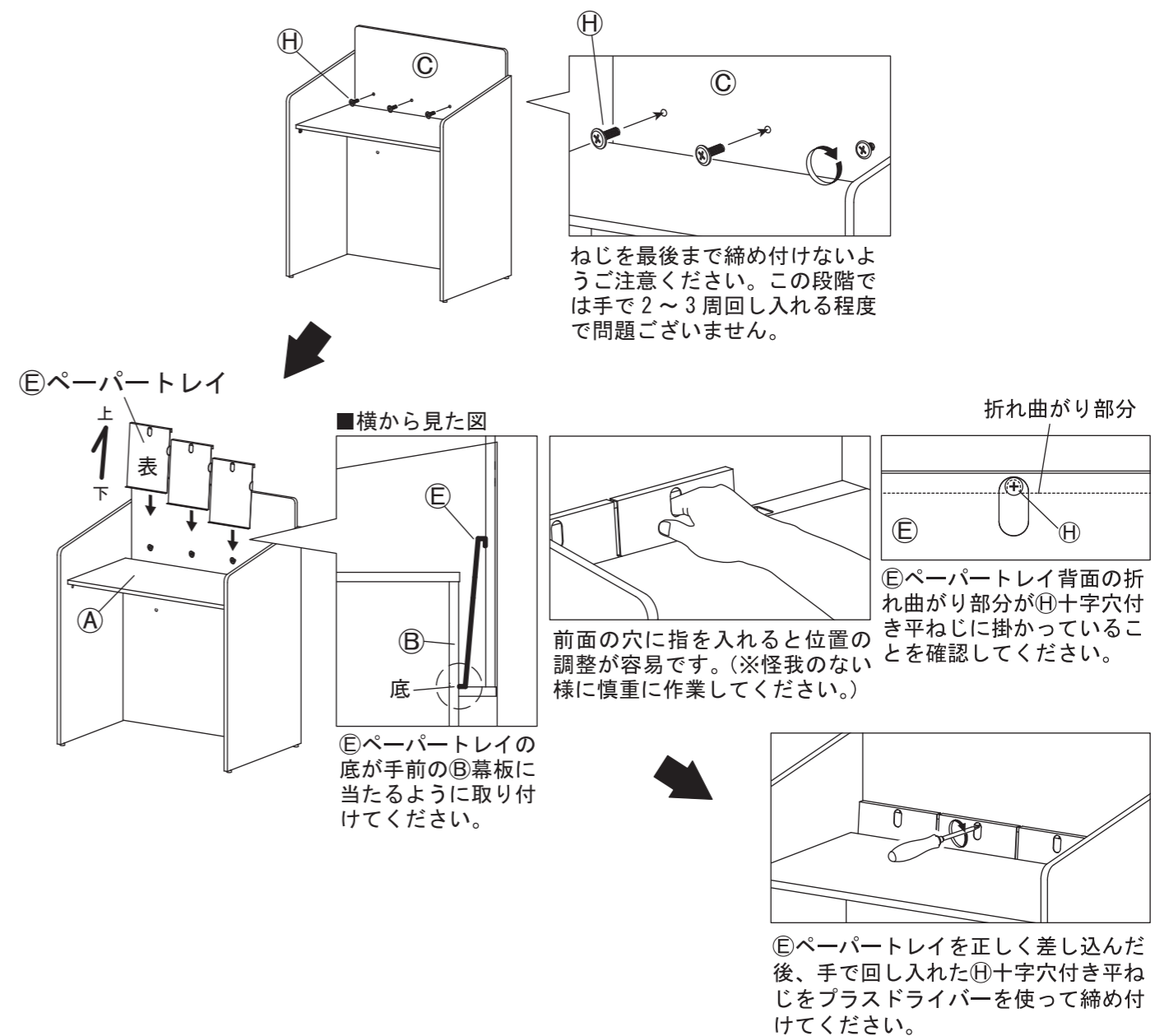
9

(A)天板と(M)左側板・(N)右側板に(J)L字金具を取り付けます。プラスドライバーを使って(H)十字穴付き平ねじを回して締め付けてください。



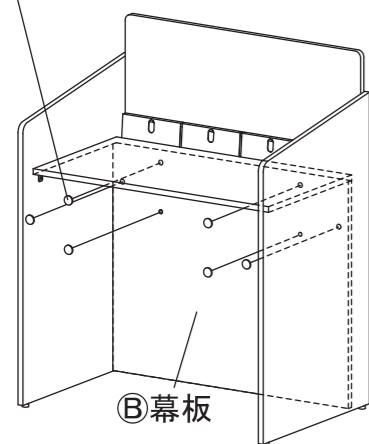
10

(E)ペーパートレイを取り付けます。(C)背板の正面に(H)十字穴付き平ねじを2~3周手で回し入れてください。その後、(E)ペーパートレイを(A)天板の奥側に上から差し込みます。下の図の様に正しく差し込んだ後、(H)十字穴付き平ねじをプラスドライバーを使って締め付けてください。



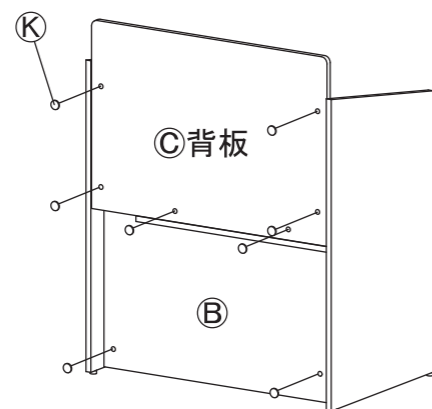
③幕板・④背板に⑤穴隠しシールを貼り付けます。
その後、⑥天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。

⑤穴隠しシール



③幕板

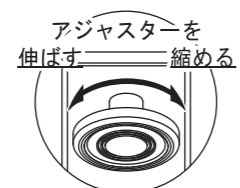
正面



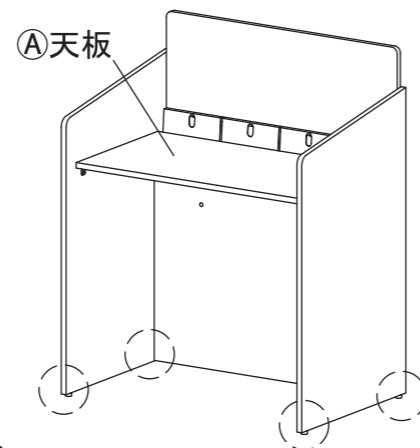
④背板

③

背面



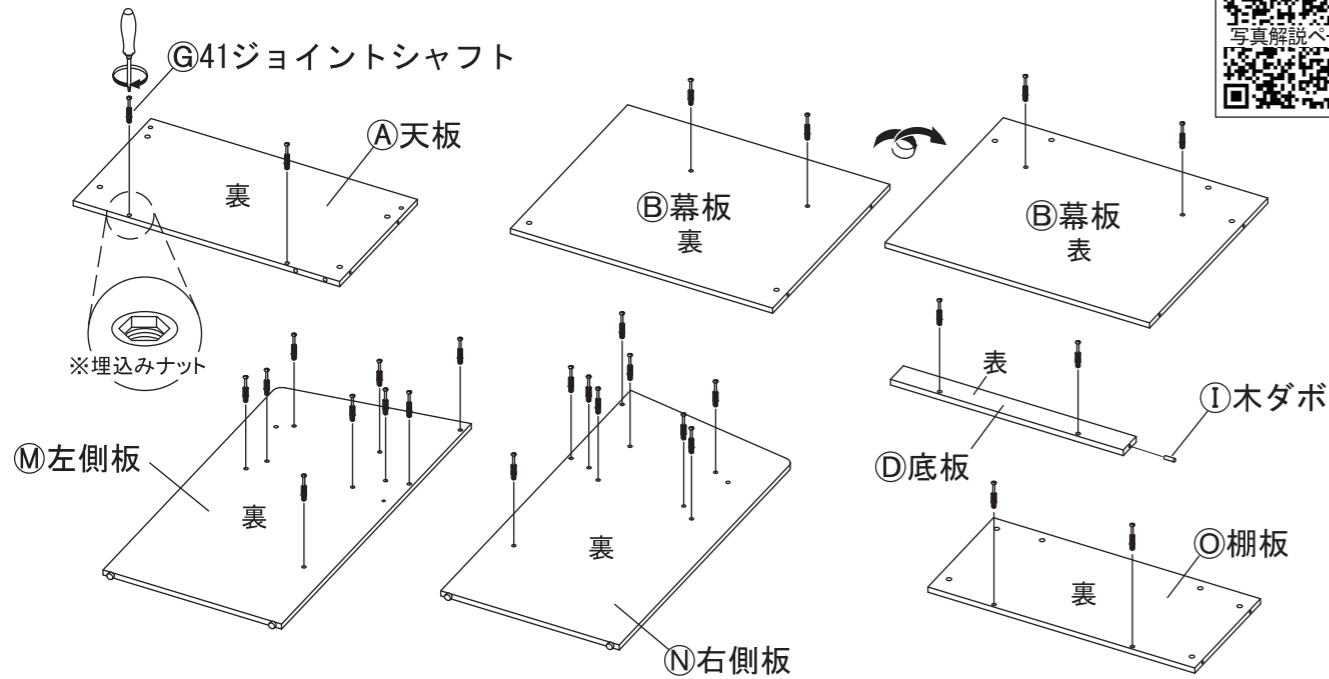
床に接地していないアジャスターを回して水平になるように調整し、がたつかないようにしてください。



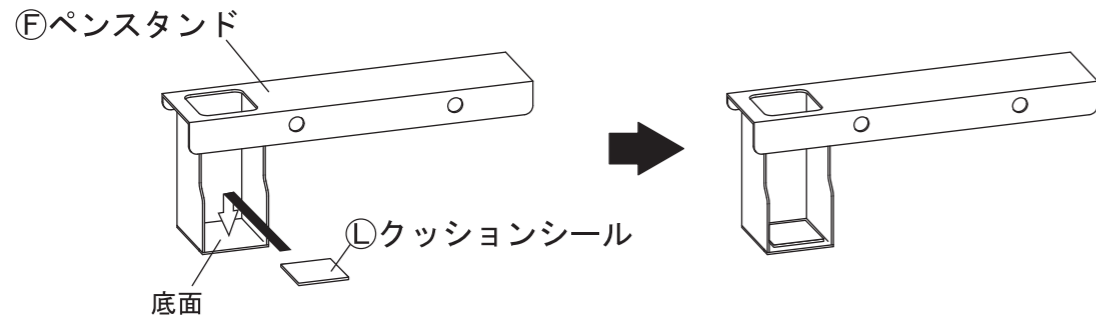
⑥天板

記載台ハイの組み立て方

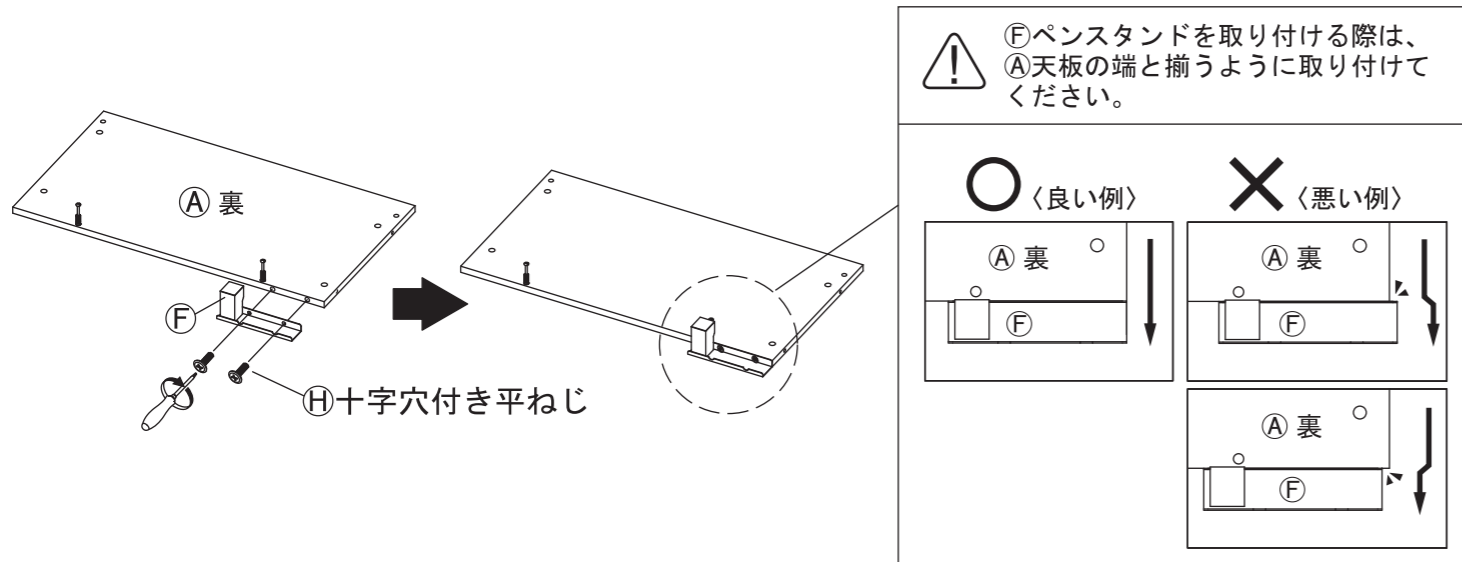
1 ①天板・②幕板・③底板・④左側板・⑤右側板・⑥棚板に⑦41ジョイントシャフトを回し入れてください。
その後、③底板の横穴に⑧木ダボを差し込んでください。
※ジョイントシャフト取り付け部分には、ナットが埋め込まれています。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



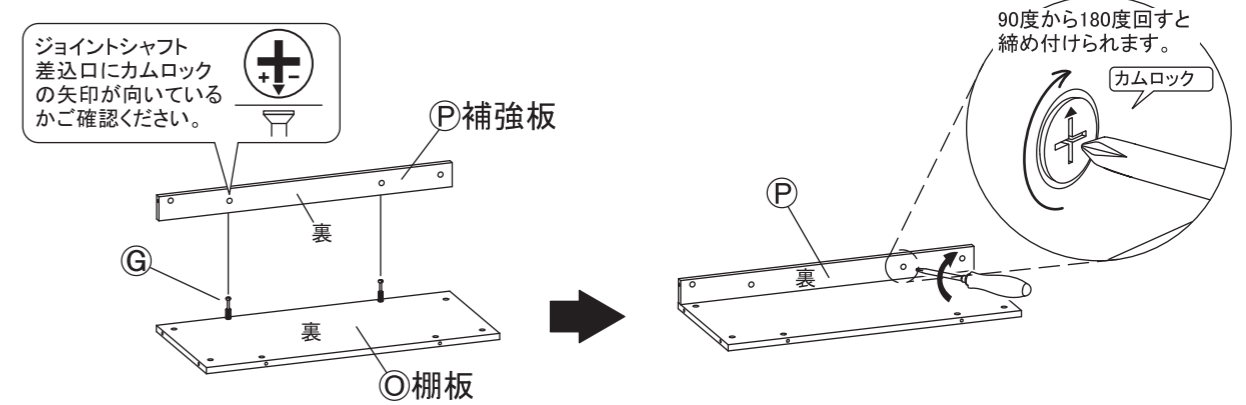
2 ⑨ペンスタンドに⑩クッションシールを貼り付けます。
⑩クッションシールの剥離紙を剥がし、⑨ペンスタンドの底面に貼り付けてください。



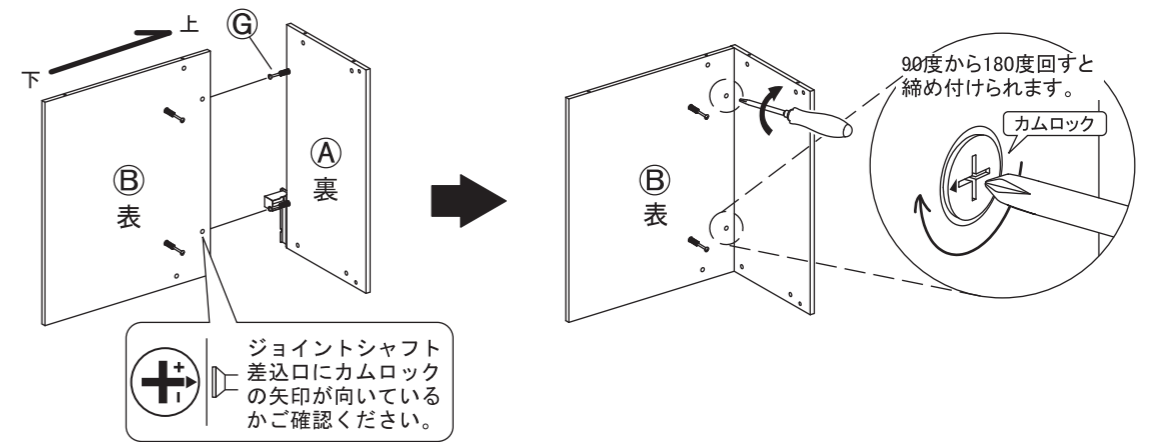
3 ①天板に⑨ペンスタンドを取り付けます。
プラスドライバーを使って⑪十字穴付き平ねじを回して締め付けてください。



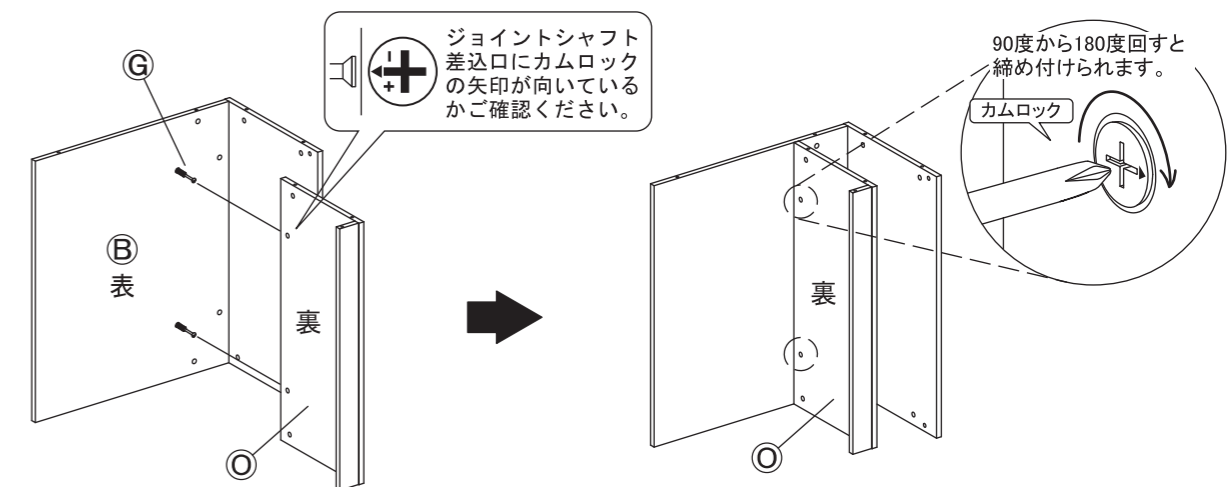
4 ⑫補強板の横穴に、⑬棚板の⑦41ジョイントシャフトを差し込みます。
その後、⑫補強板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



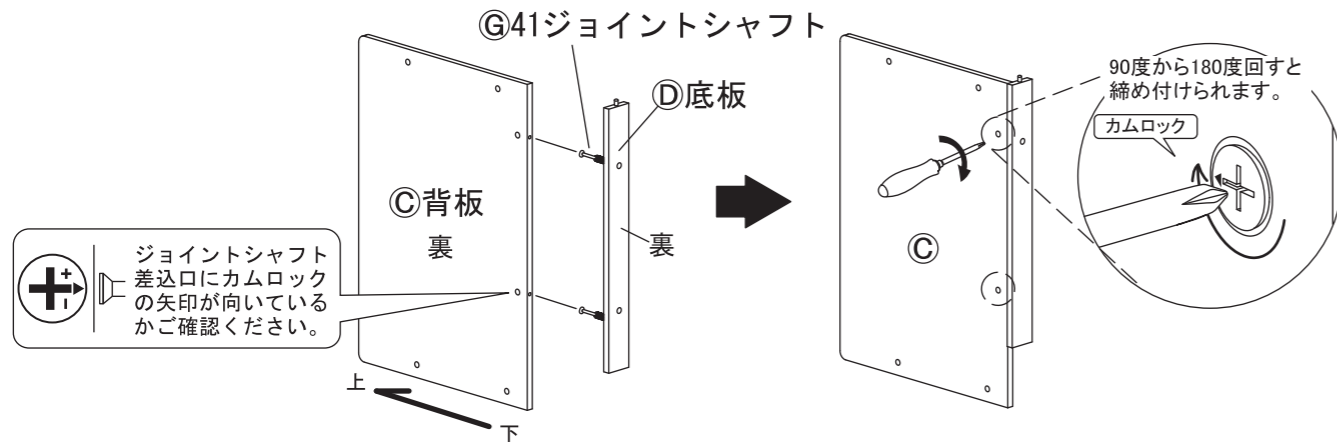
5 ⑭幕板の横穴に、①天板の⑦41ジョイントシャフトを差し込みます。
その後、⑭幕板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



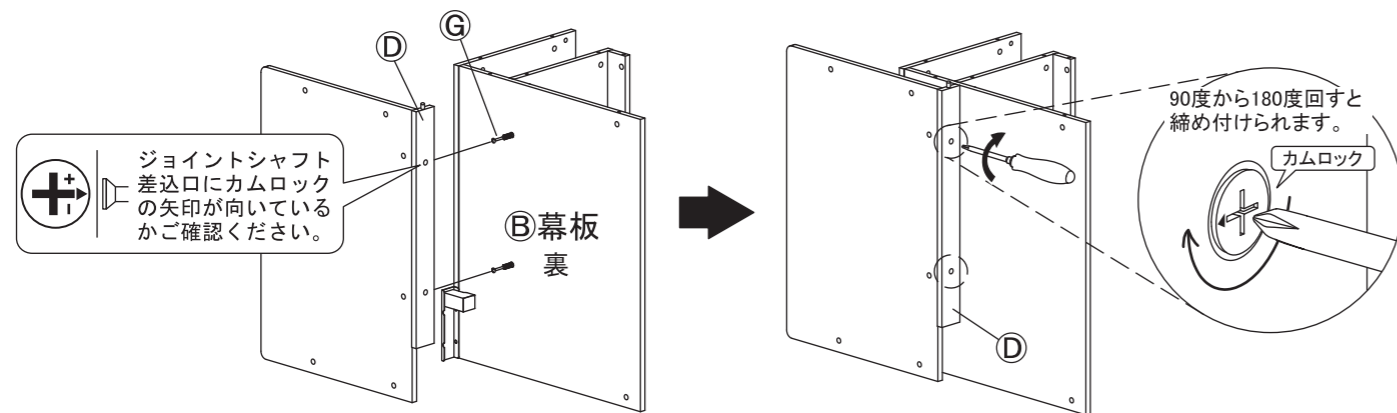
6 ④で組み付けた⑬棚板の横穴に、⑤で組み付けた⑭幕板の⑦41ジョイントシャフトを差し込みます。
その後、⑬棚板のカムロックを回して締め付けてください。
■ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



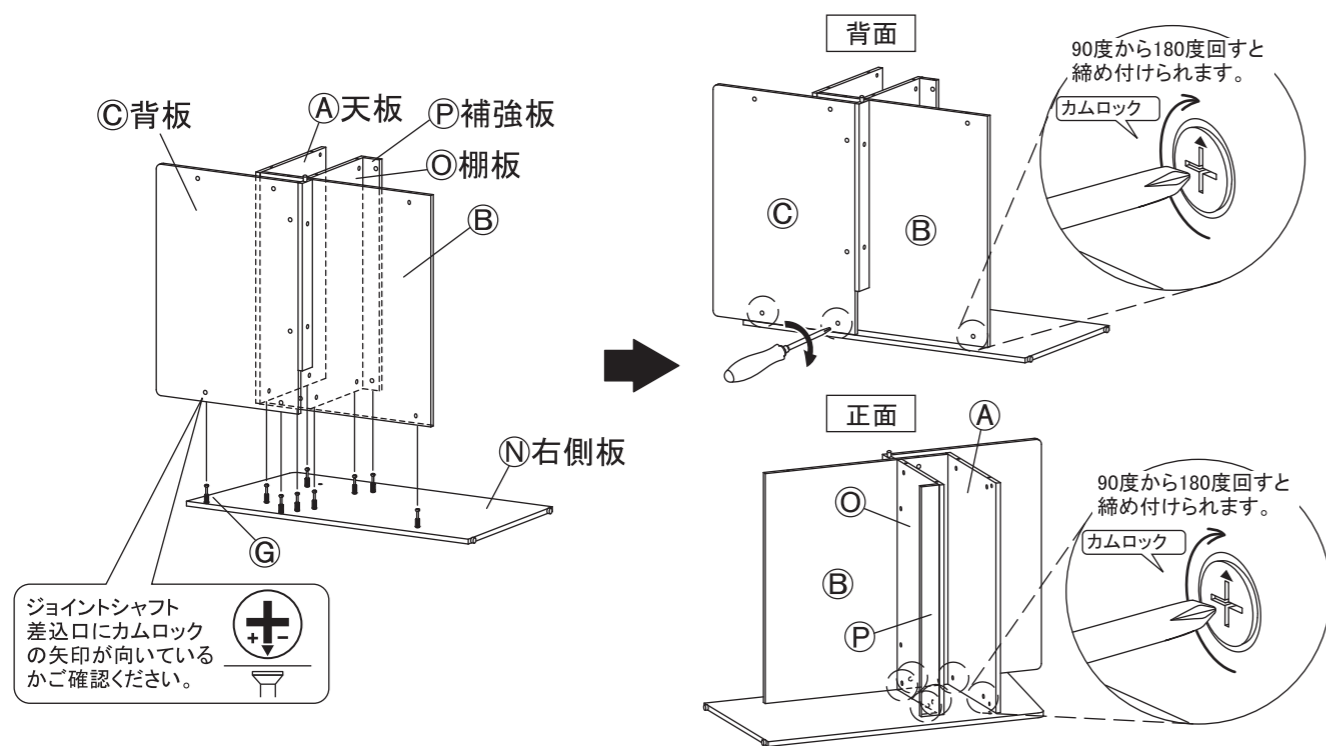
7 ③背板の横穴に、①底板の④41ジョイントシャフトを差し込みます。その後、③背板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



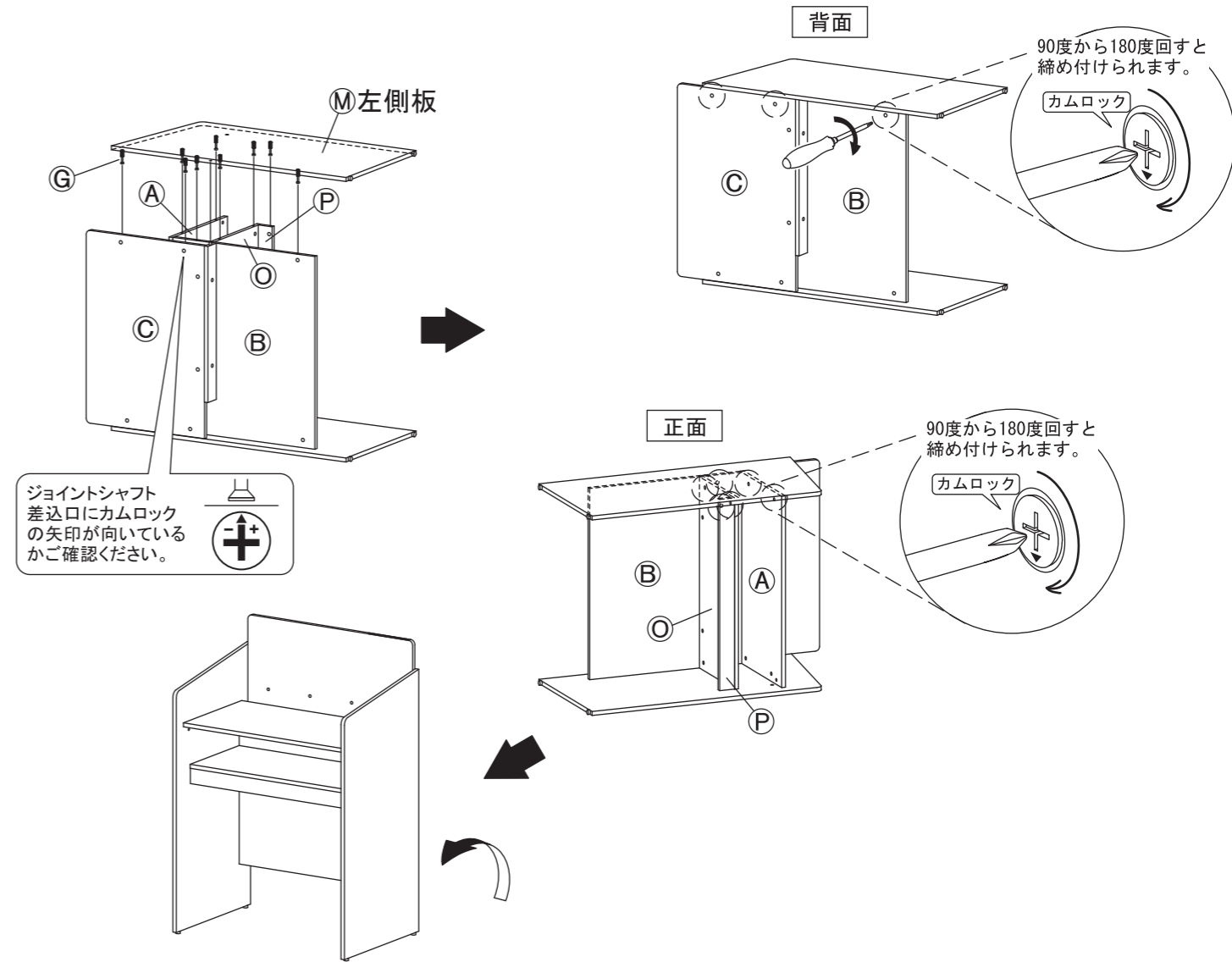
8 7で組み付けた①底板の横穴に、6で組み付けた②幕板の④41ジョイントシャフトを差し込みます。その後、①底板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



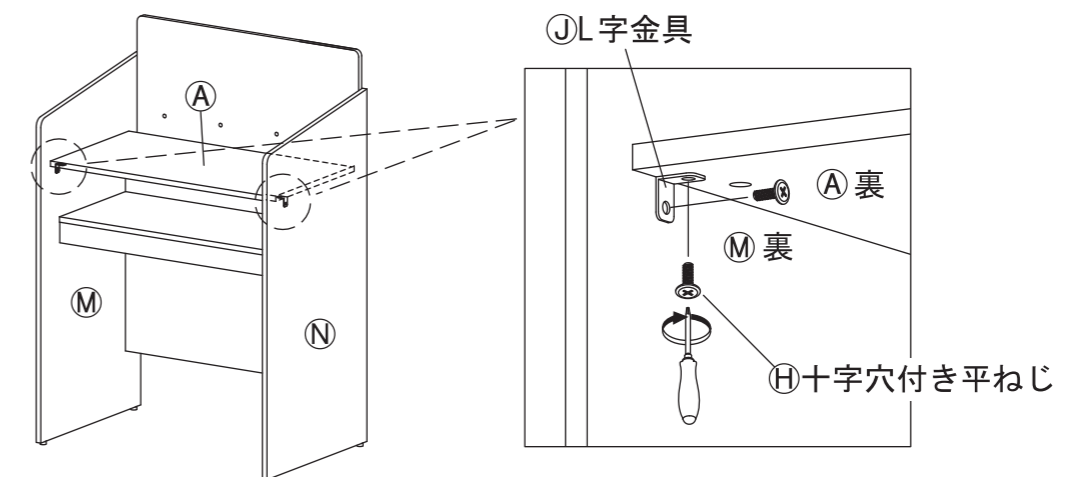
9 8で組み付けた①天板・②幕板・③背板・⑤棚板・⑥補強板の横穴に、⑧右側板の④41ジョイントシャフトを差し込みます。その後、①天板・②幕板・③背板・⑤棚板・⑥補強板のカムロックを回して締め付けてください。
 ■ ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



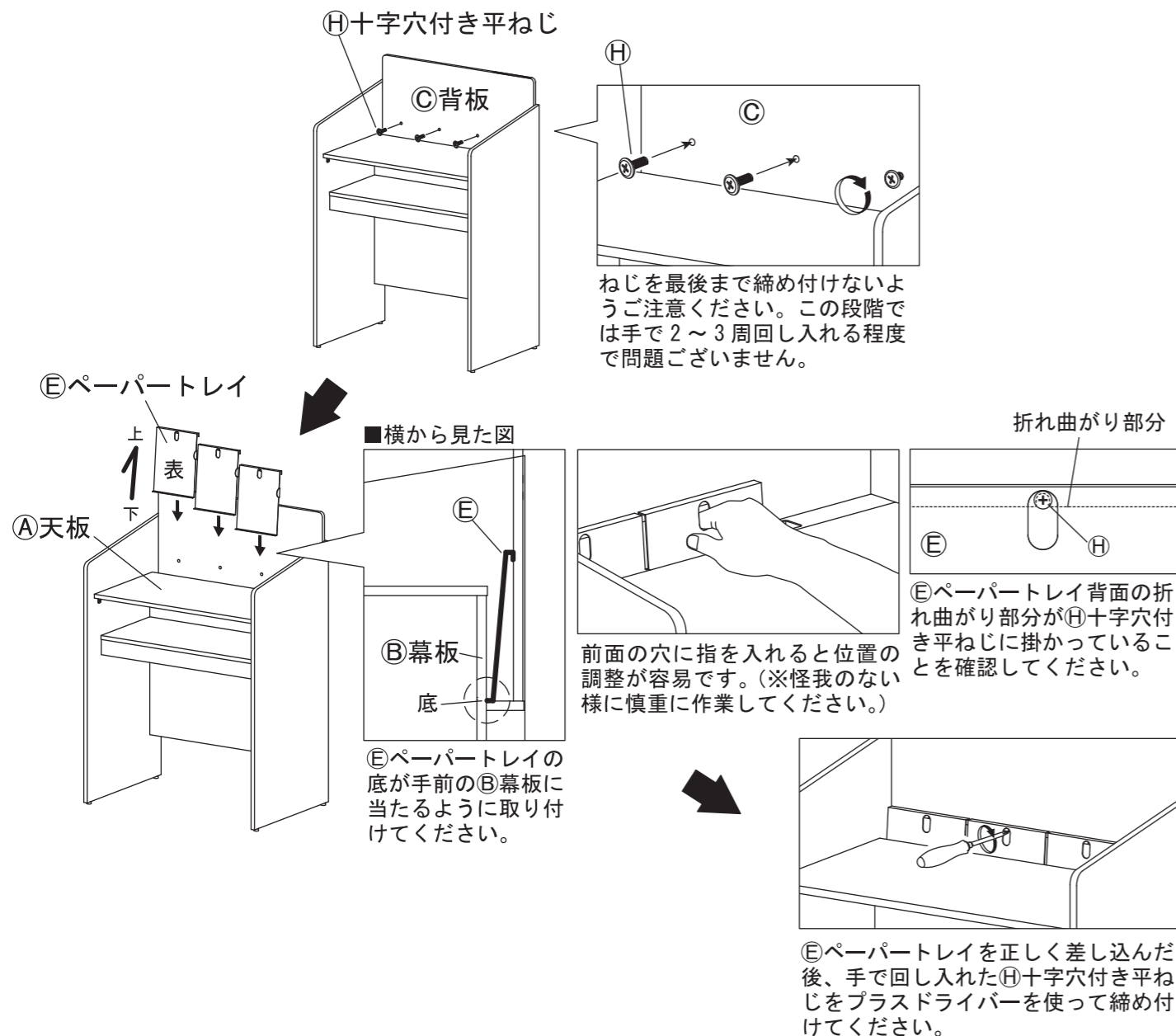
10 9で組み付けた①天板・②幕板・③背板・⑤棚板・⑥補強板の横穴に、⑨左側板の④41ジョイントシャフトを差し込みます。その後、①天板・②幕板・③背板・⑤棚板・⑥補強板のカムロックを回して締め付けてください。全てのカムロックが締め付けられていることを確認し、組み付けた製品を二人以上で慎重に起こしてください。
 ■ ページ2の「ジョイントシャフトとカムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。



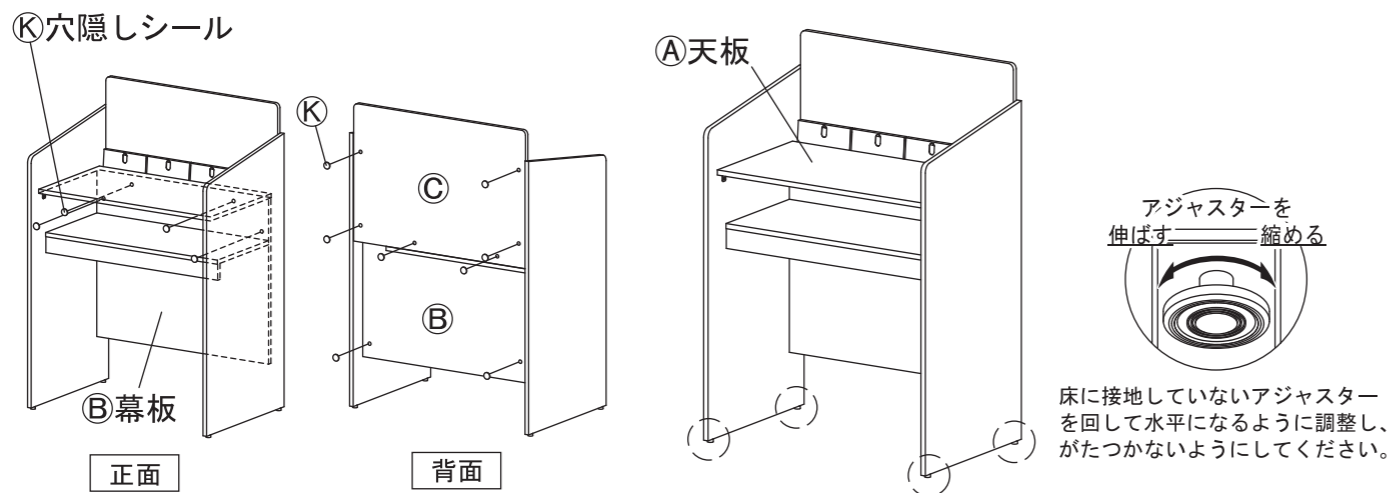
11 ①天板と⑨左側板・⑧右側板に⑩L字金具を取り付けます。プラスドライバーを使って⑪十字穴付き平ねじを回して締め付けてください。



⑤ペーパートレイを取り付けます。③背板の正面に④十字穴付き平ねじを2～3周手で回し入れてください。その後、⑤ペーパートレイを①天板の奥側に上から差し込みます。下の図の様に正しく差し込んだ後、④十字穴付き平ねじをプラスドライバーを使って締め付けてください。



12 ②幕板・③背板に⑥穴隠しシールを貼り付けます。その後、①天板が床と水平になるよう、アジャスターを回して調整してください。



取扱上の注意

ご使用前にこの取扱上の注意をお読みになり正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをする恐れがあります。
- 外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 火気の側に近づけて設置しないでください。火災の原因となります。
- 耐荷重以上のものを載せないでください。破損の原因となります。
- 各部のねじ類が緩んだ状態で使用しないでください。破損や転倒することがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、販売元に相談してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 商品に乗ったり腰をかけたたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 用途以外には絶対に使用しないでください。思わぬ事故が発生することがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やケガをすることがあります。
- 傾斜のない平らな場所へ設置してください。
- 物を載せたまま移動しないでください。破損やケガをすることがあります。
- 安全上、構造上の理由により仕様を予告なく変更する場合があります。
- 商品を移動させる際には、二人以上でゆっくり行ってください。段差などで破損する場合があります。
- この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡又は重傷を負ったり、傷害または物的損害が発生する場合があります。その場合の責任は負いかねますのでご了承くださいますようお願いいたします。

使用上の注意

- ▲直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲湿気の多いところに設置しないでください。腐食・変色・変形することがあります。
- ▲板面に硬いものを落としたり、ぶつたりしないでください。破損する事があります。
- ▲加熱した鍋やヤカンなどを直接置かないでください。
- ▲屋外や水がかかるような場所での使用は避けてください。変色・変形することがあります。
- ▲液体物が付着した場合は、放置せずすみやかに拭き取ってください。化粧面が変色・変形する場合があります。
- ▲大変危険ですのでお子様だけで操作移動をしないようお願いします。ケガや破損を招く恐れがあります。
- ▲ご使用の環境により、床面にアジャスター・キャスター等の商品接触による変色や跡が付くことがあります。特にフローリングやクッションフロアでご使用の際はご注意ください。

お手入れ方法

- ◆汚れを落とす場合は、から拭きするが固く絞った濡れぞうきんで拭いてください。
- ◆汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った濡れぞうきんで拭き、そのあと乾燥した布で水分を拭き取ってください。
- ◆シンナー等の使用は避けてください。変色・変形の原因となり、塗装が剥がれる場合があります。
- ◆ねじ類は必ず増し締めをしてください。

組み立て方やお手入れに困ったら

アールエフヤマカワ お客様相談室



＜品質表示＞

外形寸法 (mm)	幅	奥行き	高さ
ロー RFKD-9060 (60) WH (L) -T (L)	900	600	1130
ハイ RFKD-9060WH (H) -T (L)	900	600	1330

耐荷重 天板	約 20kg (均等荷重)
棚板	約 10kg (均等荷重)

材質 本体	合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂) 金属 (鋼)
----------	------------------------------------

アール・エフ・ヤマカワ株式会社 ☎0120-204-208

商品チェック

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全に永くお使い頂くために、お客様ご自身の製品チェックにご協力をお願い致します。

不良により返品や交換をご希望される場合は、問題箇所とお客様情報をご記入の上 FAX 頂くか、お電話にて弊社お客様相談室までお問い合わせください。

✓ チェック項目

品質向上にご協力いただきありがとうございます。安全にお使いいただくため、下記項目は定期的にご確認ください。

- 本体に破損や変色・変形は見当たらないか
…異常を発見した場合はお問い合わせください。
- カムロックは正常に締め付けられているか
…別項「カムロックの正しい締め付け方法」をご参照ください。
- 側板・前板に隙間はないか
…カムロックとジョイントシャフトが正常に締め付けられているかをご確認ください。
- 完成図との相違は見当たらないか
…安全にお使い頂くため、取扱上の注意は必ずお守りください。

その他問題事項があった場合、枠内へのご記入をお願い致します。

ご協力いただきありがとうございました。

ご氏名	
お電話番号	
FAX番号	

月曜日-金曜日(祝日を除く)
AM9:00~PM5:00
アール・エフ・ヤマカワ株式会社
お客様相談室

☎0120-204-208
FAX 059-256-5333

申込番号	
品名	記載台
商品番号	
お買上日	年 月 日
お買上サイト名	